

毎日新聞 2017年(平成29年)11月15日 水曜日

共通テスト見据え受検 松本秀峰5年生が英語の検定



マイク付きのヘッドホンを着け、民間の英語検定試験に取り組む生徒たち

松本市の松本秀峰中等教育学校で12日、高校2年生に当たる同校の5年生約50人が、民間企業が主催する英語の検定試験を受けた。現行の大学入試センター試験の後継として2020年度から実施する「大学入学共通テスト」の英語で、民間の検定試験が導入されたことや、生徒が民

間検定試験に慣れる目を以て実施を決めた。生徒はパソコンの前に座り、マイク付きヘッドホンを

着用。画面上に示された地図を見ながら英語で道案内をする問題などに取り組んだ。

田中宏樹さん(17)は「自分の

英語教科を担当する上條智也教諭(31)は「書く、話す、読む、聞くを中心とした英語と表現力を付けたい」と話している」とした。